



楽々亭通信

第4号
令和2年12月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

楽々亭は第5回目を

開催いたしました

『仏説無量寿経』 というお経に

本願寺派布教使
安堂芳雅

「身、自ら之を当
け、代わる者あること
なし。」

誰にも代わってもら
うことのできない悲し
み苦しみを抱えて人生
を歩むのが、私たちの
本当の姿だと説かれて
います。

「代わる者あること
なし」わかっていても、
「どうして**私ばかり**が
こんなツライ目に合わ
なければならぬのか
…」と、厳しいこの身の
真実のため息しか出ま
せん。



十月の楽々亭に、ご主人の四十九日法要をつとめられて間もないSさんが来られました。自己紹介の最後に「これから先、どのように生きてゆけばよいのかわかりません。」と話された時、会場の空気が「すーっ」と変わりました。

「あれっ？」とあらためて見渡して、「ああ、そうだったなあ」と昔、母から教わったこんな言葉を思い出したのです。

親が亡くなれば、過去が欠ける
子が亡くなれば、未来が欠ける
連れ合いが亡くなれば、身体の一部を失う
友が亡くなれば、今の居場所を失う

あちらに座っておられる方は十五年前に娘さんを、こちらのお方は昨年の九月に、あの方は「両親、兄弟、みーんな見送りました」とおっしゃっていらした。この方も…、皆さんそれぞれ大切な人を亡くされていました。

私たちは、悲しみのどん底、苦しみの真ただただ中にいる人と、同じ苦しみ悲しみを体感すること

はできません。けれども、そのお方が今、悲しみ、苦しみの真ただただ中で涙しておられることはわかります。

私が「空気が変わった」と感じたのは、「そうですね、そうですね」一緒にいますあなたと一緒にいますよ」と、あの日参加しておられた皆さんがSさんに寄り添われた瞬間だったのでしょうか。

いるなあとありがたく思いました。

「仏さまの三十二の特徴」

さまざまな宗派がありますが、仏さまのお身体には共通する三十二の特徴があります。今月から、一つずつお話したいと思えます。

その一「**仏さまは扁平足！**」（足下安平立相）
そくげあんびょうりゅうそう

仏さまの足裏は大地に隙間なく密着する、いわゆる扁平足です。しかもスライムのように自由自在に変化して、地表に凹凸があっても、その凹凸のままに密着して立つことができます。仏さまのほうが自在に合わせてくださるのです。

てがない。
これは私たち一人ひとりをおののままに受け止めて下さる仏さまのはたらかしをあらわしています。



今 この時を

過去の私は 悲しいな
 明日壊れる 運命でも
 ずっと続くと 信じこみ
 幸せ溢れた 1日を
 気にも止めずに 流してた
 昨日の私は おもしろい
 ほら すぐそこに あたたか
 い
 幸せひと筋 光っても
 遠くを見つめ 立ちすくみ
 笑顔忘れて 嘆いてる
 今日の私は なんだろう
 亡くした人を 追い求め
 今あるものさえ 忘れてる
 消えた重みの 輝きで
 せめて照らそう 行く道を
 老いてなお 胸がドキドキ
 恋の歌
 人生は 先へ先への かけっ
 こだ

奥村文代

夫を思い

胸部大動脈瘤の手術を受け、
 手術には成功したのですが、肺
 炎を併発してしまい、あっけな
 く逝ってしまった夫の入院し
 てからをテレビの影響でしよ
 うか？初めて詠んでみた、誠に
 稚拙な俳句のつもりです。
 梅雨明けに 空に祈って
 入院し
 オペ無事に パジャマ踊る
 よ 夏の空
 手術終え お守り握り 汗
 じわつと
 青芝と 病みし君の 帰り
 待つ
 みつめ合う 遺影の君と
 秋の昼
 巻線香 ゆらりあなたに
 秋の風
 逝き君の 好みし栗菓子
 店先に
 天高し 私が見えるの 君
 に問う

菅沼清子

楽しい川柳

保険証無いと思えば冷蔵庫
 「ほらほらとあれ」で進行同級
 会
 総入れ歯ささやく愛もエア―漏
 れ
 そっくりねしよげる娘に悩む父
 山盛りのあいもいつしかぺった
 んこ
 赤い糸たるみを直すフルムーン
 なんてかな妻という字を毒と書
 く
 デザートが薬に代わる老人会
 い
 八十路でも女であった夜道は怖
 い
 嫁が捨て姑拾って減らぬゴミ



楽々亭第6回 12月の予定

12月15日(火)
 西京区役所洛西支所会議室
 1時30分~3時30分
 11月に開催した場所です。
 表玄関から入って下さい。



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
 住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701
 TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
 MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。